

目標達成計画

作成日: 平成22年 10月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	近隣住民と災害時の協力体制をとっているが、普段からの交流がなかったため、避難訓練の際にスムーズな連携が図れなかった。	隣接する2軒の住民に気軽に施設を訪問してもらえるようになる。	行事を一緒にしたり、散歩時、利用者と共に挨拶を交わすようにし、なじみの関係をつくる。又、普段のお茶の時間などにお誘いして利用者や職員とともに過ごしてもらえる時間を持つ。	6ヶ月
2	52	2つのユニットの交流が余り無く、避難訓練の際にそれぞれの職員間での連携が充分できなかった。	職員や利用者がユニットを超えた交流を持ち、いざという時に助け合えるようになる。	リハビリの時間などに、お互いのユニットを行き来し合っ、顔なじみの関係を作る。	6ヶ月
3	18	昨年の取り組みにより、生活の中の役割分担は定着してきたが、動きが少なくまだ充分とは言えない。	利用者一人ひとりの思いや希望を聞き、役割を充実させハリのある生活をしていただく。	洗濯たたみ、洗濯干し、テーブル拭き、拭き掃除、食事時の挨拶、その他出来る役割を提供し、楽しく取り組んでいただく。又、できない利用者との関わりも持つようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。